

普通科

普通科について

今日、国際化や情報化などの社会の変化に伴い、みなさんが将来選ぶべき進路も多様化し、いろいろな生き方が可能になってきています。大学や専門学校などの上級学校へ進学し、より専門性の高い職業に就くことを考えている人や、早く就職して社会で働きたいと考えている人にとって、それぞれにふさわしく、かつ必要な基礎・基本の力や人間性を身に付ける場が、これからも求められています。

普通科では、普通教科（国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報）を中心とした学習を通して、幅広く世の中に対応できる学力や教養、大人になってからも学び続ける姿勢を身に付けることを目指しています。しっかりした目的意識と主体的な学習姿勢をもって取り組みましょう。

大学

たくさんの学部があり、学ぶ内容によって、文化（文・心理・歴史）、社会（法・経済・社会・教育）、技術（理・工・農）、生命（医・歯・薬・家政）などの分野があります。高い専門性を身に付けます。

短大・
専修学校等

- ・社会で活躍する「技術者」「実務者」を養成します。
- ・資格取得を目指します。

就職

- ・社会人として基本的な態度、挨拶や言葉遣いなど、マナーが特に大切です。
- ・高校もインターンシップ事業等で就職希望者を支援しています。



多様化する進路への対応

基礎・基本の徹底

潜在能力の発見

一人一人へのきめ細かな学習指導により
幅広く世の中に対応する学力を養成する

自己の適性の認識

職業観・勤労観の育成

特色ある教育活動

普通科では、普通教科の学習が中心ですが、それだけではありません。将来世界で活躍したり、地域の活性化に貢献したりできる人材の育成のため、地域の特性や学校の特色を生かした地域課題解決型の探究的な学習に取り組んでいます。

地域課題解決型 の探究的な学習

グローバルな視点で課題を探究する高校

地域に密着した課題を探究する高校

地域とともに活性化する魅力ある高校

学びや進路に対する充実した支援体制

進学や就職など、みなさんが将来選ぶべき進路も多様化しています。それらの進路希望に対応するために、学校の制度に特色を出したり、支援の体制を充実させてたりしています。

特色ある
制度

単位制

科目選択の仕組みを工夫して選択できる科目を増やしたり、学校の特色に応じて学校独自の科目（学校設定科目）を用意したりするなどして、多様な進路希望に対応します。

連携型中高一貫教育校

中学校と高校が教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深め、家庭、学校、地域社会が一体となった教育により、6年間を見通したきめ細やかな学習指導と生徒指導を実践します。

進路
支援

地域創生 キャリア プランナー

就職に関わる情報提供や就職指導、進学後の地元就職を含めた進路情報や地元企業に関する情報を提供するキャリアプランナーを配置します。また、地域創生の担い手となる人材の育成を見据えて、地域の産業界や関係機関等との連携によるキャリア教育を支援します。